

# 報 告 事 項

- 1 . 入会、退会に関する規定
- 2 . 専門部会規定
- 3 . 会員数・指導者数の推移、クラブハウス利用  
状況
- 4 . アンケート結果

# 1、長野総合スポーツクラブ「モックルクラブ」入会、退会に関する規定

(総則)

第1条 この規定は長野総合スポーツクラブ「モックルクラブ」(以下「クラブ」という。)規約第7条の規定に基づき、クラブの会費及び入会、退会に関して必要な事項を定めるものとする。

(入会)

第2条 このクラブに入会しようとするものは、所定の入会申込書を提出しなければならない。

2 入会者(以下「会員」という。)に会員証を交付する。

(会費)

第3条 クラブの会費は別表のとおりとする。

2 年度途中に入会した会員の会費は入会した月からの額。

3 2人以上の家族が加入する場合、2人目から1人につき1,000円を割引する。

4 サークル会員、指導者、スタッフが加入する場合は、1,000円を割引する。

(会費の納入)

第4条 会費は次のとおり納入しなければならない。

(1) サークル会員の納入期限は、4月末日とする。

(2) スクール会員の年会費は、12回に分け自動送金にて納入する。

(3) 自動送金日は当月15日とする。

(4) スクール会員の保険・諸経費は入会申込み時に現金にて納入する。

(5) 短期教室は教室により費用が異なり納入は自動送金とする。

2 一度納入した会費は一切返還しない。

(会員の事業参加)

第5条 会員はクラブが行うすべての活動に参加することができる。

(退会)

第6条 クラブを退会しようとする者は、所定の退会届を提出し、会員証を返却しなければならない。

附則1、この規定は平成16年3月6日施行する。

平成17年 3月 31日一部改正

別表

スクール年会費

| 区分        | 年会費     | 保険・諸経費(年) |
|-----------|---------|-----------|
| 小・中       | 12,000円 | 1,000円    |
| 一般(16歳以上) | 18,000円 | 2,000円    |

サークル年会費

| 区分  | 24人以下 | 25人～49人 | 50人～74人 | 75人～99人 | 100人以上  |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|
| 小・中 | 3,000 | 6,000円  | 10,000円 | 15,000円 | 20,000円 |

|    |            |         |         |         |         |
|----|------------|---------|---------|---------|---------|
|    | 円          |         |         |         |         |
| 一般 | 5,000<br>円 | 10,000円 | 15,000円 | 20,000円 | 25,000円 |

#### 賛助会員

|        |           |
|--------|-----------|
| 区分     | 1口        |
| 個人     | 5,000円以上  |
| 法人・団体等 | 10,000円以上 |

平成 18 年 3 月 18 日

モックルクラブ会員・保護者の皆様

長野総合スポーツクラブ「モックルクラブ」

運営委員長 巽 勝彦

### 新たなスタートに向けて～会費とクラブ運営～

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、副題の会費につきましては、2月に値上げについてお知らせするとともにアンケート調査を実施したところですが、その結果から、会費やクラブ運営についてさらに詳しい説明の必要性を感じましたので、この書面をもって説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくご理解の程お願い申し上げます。

**モックルクラブは有志の熱意によって誕生し、自主・自立で運営しているスポーツクラブです。行政や補助金に頼らないクラブ運営を目指しています。**

「長野総合スポーツクラブ（モックルクラブ）」は、河内長野市からの側面支援をいただいておりますが、財源は会費や事業収入を主にし、熱意溢れるコーチや事務局スタッフのボランティアによって運営されているクラブであることを、まずご理解いただきたいと思っております。

平成 17 年度予算では、河内長野市を含め複数の団体などから総額 2,750,000 円もの補助金（全予算の約 4 割、ホームページの総会資料参照）を交付して頂いております。しかしながら、このような補助金はいつまでも交付して頂けるものではありません。交付年限が決まっていたり、各団体の事情（toto の売上げ等）などにより、いつ減額や突然補助の交付が中止されるか分からない不安定なものなのです。

平成 18 年度分として申請している補助金の内、交付の決定を受けているものはライフスポーツ財団の 500,000 円しかなく、17 年度の会費収入のままではクラブの運営が危うい状況です。他府県のクラブのように、補助金が無くなったために廃クラブに追い込まれる懸念さえあります。

こうしたことから、今後も補助金を獲得する努力を続けて参りますが、補助金に依存しなくてもクラブ運営ができるよう、会費などの値上げも含めて自主財源の確保が必要であり、そのためにはクラブの一層の充実を図ることが、唯一みなさまに納得いただける方法であると確信しているところです。

**学校施設や公共施設の使用料が 1.5 倍～3 倍近く値上がりすることをご存知ですか？**

**会費の値上げによってプログラムやサービス機能の充実を図り、みなさまに満足していただけるようがんばります。**

当クラブの活動で使用している施設は学校施設や公共施設が中心ですが、すべてにおいて使用料が必要です。今年度決算では約 200,000 円の支出になる見込みですが、この使用料が平成 18 年 4 月から、河内長野市の条例改正により 1.5 倍から 3 倍もの値上げになることが決まっています。また、昨年からの念願のクラブハウスを持つことができ、皆様へのサー

ビスや事業内容も格段に向上したと思っておりますが、その反面、一昨年には無かったクラブハウス整備費、維持費が必要になりました。

今回の値上げはこうした支出増への対応のみならず、安すぎた当初設定の年会費の適正化を図り、プログラムやイベントの充実、事務的なサービス機能の充実に充当し、会員の皆様により一層満足していただけるクラブづくりに努めてまいりたいと考えています。

現在、計画している具体例は下記のとおりです。

(プログラム)

- ・テニス、太極拳のクラス増(確定)
- ・ソフトバレー、スポンジテニスの種目増(準備中)
- ・絵画、囲碁等の文化教室の開設(準備中)
- ・育児支援プログラムの研究・開発
- ・スクール開催期間の拡大

(事務局サービス機能)

- ・オープン日を週4日から週6日へ
- ・クラブ通信の充実
- ・事務機器などの充実

(その他)

- ・コーチへ支払う実費弁償の適正化
- ・指導者の資質向上のための資格取得等の支援

**クラブを5年、10年ではなく、50年、100年と維持するために。そして、この地に真のスポーツ文化を根付かせるために。**

クラブでは、ボランティアといえどもコーチや事務局スタッフに交通費などの実費弁償程度の費用を払っています。中には「いらぬ」というコーチもいらっしゃいますが、これが近年のボランティア活動の常識であり、このシステムを確立・継続することが優秀な指導者を確保し、クラブを永く維持・運営する大事な要素だと考えており

ます。指導者が、自分の所持するお金からマイナスを出してまで活動していくとなると、5年間、10年間は活動が維持できても、いずれ厳しい時期がくることは必至です。

せっかくできたクラブです。我々の孫やひ孫、さらにその先の世代のために、このクラブを、この身近にスポーツが気軽にできる環境を残していきたいと願っています。

現日本サッカー協会の川淵キャプテン（会長）は、Jリーグ発足に際して「Jリーグ百年構想」というものを宣言しました。明治以来、学校体育を中心に発展してきた日本では、まだまだ真の意味でのスポーツの楽しみ方を知らない人が多く、ヨーロッパのようにスポーツが生活の一部となるような「スポーツ文化」を確立することを提唱したのです。

すべてを説明するには紙面が足りずまたの機会にいたしますが、この河内長野の地に百年かけてでも「スポーツ文化」を根付かせ、華を開かせることがこのクラブの使命であり夢なのです。

最後に、当クラブの設立趣旨は、営利が目的ではありませんので必要以上の負担を求めることはありませんが、受益者負担と自主・自立の運営を基本としていますので、何卒ご理解をお願いするとともに、今後ともよろしく願いいたします。

## 2、長野総合スポーツクラブ専門部会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、長野総合スポーツクラブ規約第11条第1項第3号及び第14条の規定に基づき、専門部会(以下「部会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(名称及び業務)

第2条 部会の名称及び業務は、別表のとおりとする。

2 部会は、理事会から付託があったときは、これを審議する。

(部員)

第3条 部員は、運営委員、指導者、スタッフ等のうちから長野総合スポーツクラブ運営委員会会長(以下「会長」という。)が選任する。

(役員)

第4条 部会に、次の役員をおく。

(1) 部長 1名

(2) 副部長 1名

2 各部会の部会長及び副部長は、それぞれの専門部会において部員の互選によりこれを定める。

3 部長は、部会を代表し会務を総理する。

4 副部長は、部長を補佐し、部長に事故あるときは、あらかじめ部長が指名した副部長がその職務を代理する。

(任期)

第5条 部員の任期は1年とする。

(会議)

第6条 各部会の会議は、部長が召集し議長となる。

2 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 部会は、理事会から付託された事項について審議したときは、その結果を理事会に報告しなければならない。

4 部長が必要と認めるときは、専門知識を有する者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し、必要な事項は部長が会長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成17年4月23日から施行する。

平成18年 月 日一部改正

別表

専門部会の名称及び業務内容

| 部会名    |  |
|--------|--|
| 総務部会   | <ol style="list-style-type: none"><li>1．スクールの運営に関する事。</li><li>2．会員の募集に関する事。</li><li>3．予算及び決算に関する事。</li><li>4．研修に関する事。</li><li>5．コーチ連絡会議に関する事。</li><li>6．規約に関する事。</li><li>7．その他、他の専門部会に属さない業務に関する事。</li></ol> |
| 交流事業部会 | <ol style="list-style-type: none"><li>1．講習会、交流大会に関する事。</li><li>2．フェスティバルに関する事</li><li>3．その他、交流事業に関する事。</li></ol>   |
| 広報部会   | <ol style="list-style-type: none"><li>1．クラブの広報誌、ホームページに関する事。</li><li>2．その他、クラブの広報に関する事。</li></ol>  |

### 3、会員、指導者数の推移

モックルクラブ会員数(H16.9.1現在)

|        | 未就学生 |    | 小学生 |     | 中学生 |    | 高校生～一般 |    | 男女別合計 |     | 総合計 | 指導者 | うち有資格者 |
|--------|------|----|-----|-----|-----|----|--------|----|-------|-----|-----|-----|--------|
|        | 男    | 女  | 男   | 女   | 男   | 女  | 男      | 女  | 男     | 女   |     |     |        |
| スクール会員 | 0    | 0  | 59  | 66  | 3   | 4  | 10     | 57 | 72    | 127 | 199 | 24  | 11     |
| 短期会員   | 30   | 12 | 0   | 0   | 0   | 0  | 0      | 0  | 30    | 12  | 42  | 6   | 6      |
| サークル会員 | 0    | 1  | 237 | 68  | 62  | 14 | 57     | 0  | 356   | 83  | 439 | 59  | 7      |
| 合計     | 30   | 13 | 296 | 134 | 65  | 18 | 67     | 57 | 458   | 222 | 680 | 89  | 24     |

モックルクラブ会員数(H17.9.24現在)

|        | 未就学生 |   | 小学生 |     | 中学生 |    | 高校生～一般 |    | 男女別合計 |     | 総合計 | 指導者 | うち有資格者 |
|--------|------|---|-----|-----|-----|----|--------|----|-------|-----|-----|-----|--------|
|        | 男    | 女 | 男   | 女   | 男   | 女  | 男      | 女  | 男     | 女   |     |     |        |
| スクール会員 | 0    | 0 | 79  | 96  | 2   | 8  | 10     | 86 | 91    | 190 | 281 | 34  | 13     |
| 短期会員   | 20   | 7 | 8   | 23  | 4   | 0  | 6      | 11 | 38    | 41  | 79  | 6   | 4      |
| サークル会員 | 1    | 0 | 246 | 54  | 60  | 4  | 24     | 0  | 331   | 58  | 389 | 50  | 16     |
| 合計     | 21   | 7 | 333 | 173 | 66  | 12 | 40     | 97 | 460   | 289 | 749 | 90  | 33     |

モックルクラブ会員数(H18.5.19現在)

|        | 未就学生 |    | 小学生 |     | 中学生 |   | 高校生～一般 |     | 男女別合計 |     | 総合計 | 指導者 | うち有資格者 |
|--------|------|----|-----|-----|-----|---|--------|-----|-------|-----|-----|-----|--------|
|        | 男    | 女  | 男   | 女   | 男   | 女 | 男      | 女   | 男     | 女   |     |     |        |
| スクール会員 | 0    | 0  | 79  | 102 | 6   | 3 | 11     | 96  | 96    | 201 | 297 | 37  | 22     |
| 短期会員   | 23   | 13 | 17  | 20  | 0   | 0 | 1      | 13  | 41    | 46  | 87  | 8   | 4      |
| サークル会員 | 0    | 0  | 330 | 45  | 75  | 4 | 14     | 0   | 419   | 49  | 419 | 49  | 24     |
| 合計     | 23   | 13 | 426 | 167 | 81  | 7 | 26     | 109 | 556   | 296 | 852 | 94  | 50     |

#### クラブハウス利用状況(年間)

但し、申込み手続きでの来館は除く

| 使用団体    | 使用目的    | 利用人数 |
|---------|---------|------|
| モックル関係者 | 会議等     | 262  |
| サークル関係者 | 会議等     | 639  |
| 外部団体    | 会議等     | 83   |
| 子育て支援   | ふれあい活動等 | 112  |
| スクール    |         | 104  |
| 一般来訪者   | 業者・視察団等 | 110  |
| 合計      |         | 1310 |

体育館使用不可時のスクール活動



## 4、アンケート結果

調査時期：平成 18 年 2 月

調査対象：会員及び会員保護者

回答数：127 人

### <概要>

回答者のうち 9 割の会員はサークルに所属していない（図「サークルの所属」）。

回答者のうち 6 割の会員はモックルクラブ以外のスポーツ活動をしていない（図「モックルクラブ以外のスポーツ活動」）。

入会した理由は、「健康体力向上のため」・「会費が他に比べて安いから」が多かった。

モックルクラブに入るメリットは、**会費の安さ**と**自宅に近いこと**と考えている会員が多いと思われる（Q1）。

会費の改定について、8 割の人が「まだ十分に安い」・「安い」・「適切である」と回答している（うち 6 割が「適切」）（Q2）。

回答者のうち、『郵便局自動引き落とし』について、「よくない」・「どちらかと言えばよくない」・「どちらとも言えない」で 6 割を占めていた（Q3）。

『スポーツ・バイク』システムについての感想は、「たいへんよい」・「よい」が 8 割を占めていた（Q4）。しかし、そう何個も受けれるわけではないと思われるので、システムを見直してほしいという意見が数件あった。

モックルクラブの活動により、「体力がついた」・「友人ができた」等、身体面・生活面の向上が感じられた回答者が多かった（Q5）。

9 割以上の回答者が、モックルクラブ全体に対して「たいへん満足」・「満足」・「やや満足」であると感じている（Q6）。

9 割の回答者が、これからもモックルクラブを「ぜひ続けたい」・「続けたい」と考えている（Q7）。

9 割以上の回答者が、現在参加しているプログラムの指導内容および方法に関して「たいへん満足」・「満足」・「やや満足」であると感じている（Q8）。

9 割の回答者が、現在参加しているプログラムの開催曜日・時間・回数に関して「たいへん満足」・「満足」・「やや満足」であると感じている（Q9）。

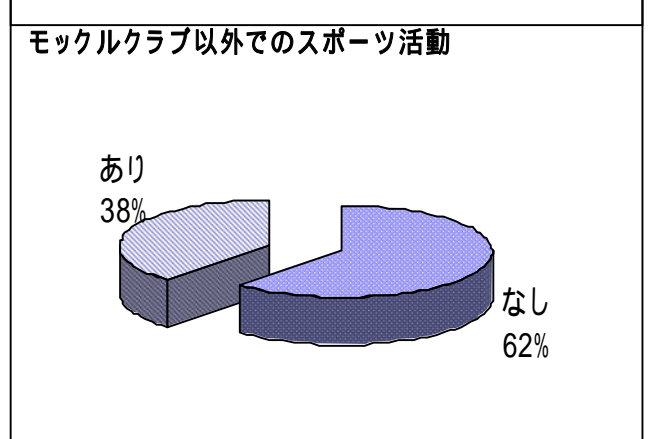
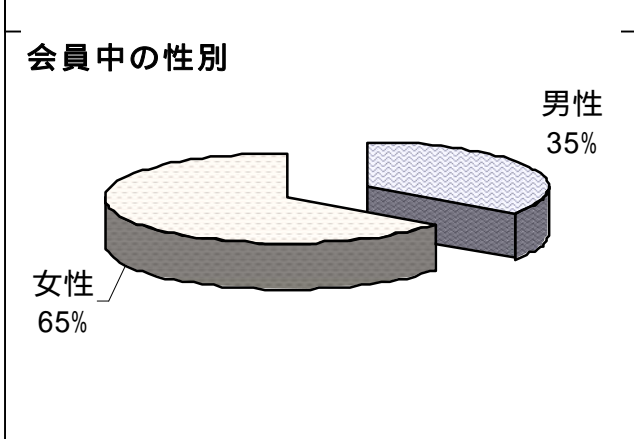
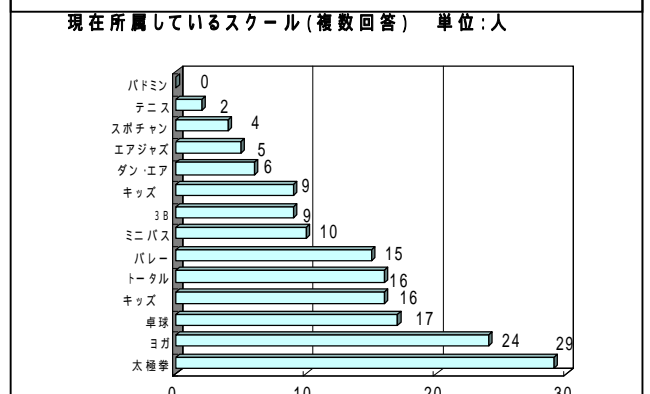
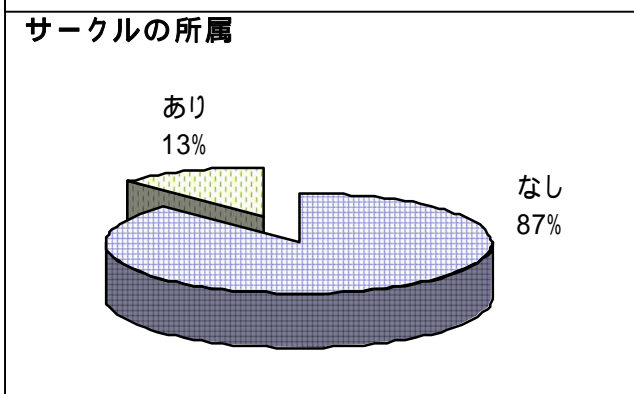
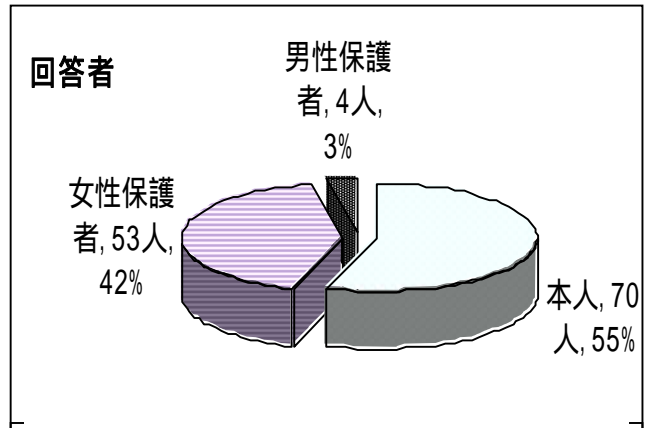
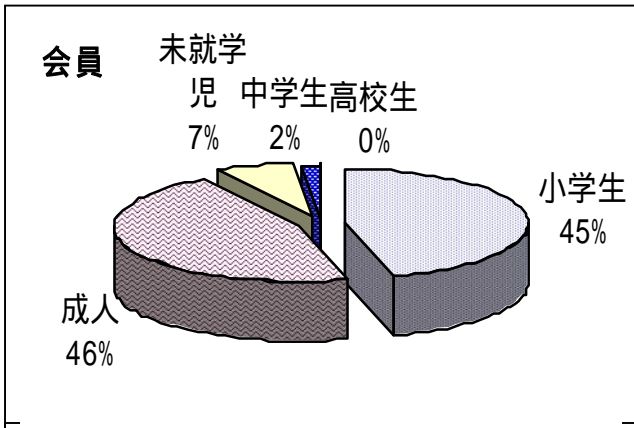
回答者のうち 6 割がインターネットをすることがあり、そのなかでモックルクラブの HP を見たことがあるひとは全回答者の 36% だった（Q13）。

回答者の 46% が成人であり、そのほとんどが高齢者だった。

普段インターネットをする人でも、モックルクラブの HP を見た人が少ない。

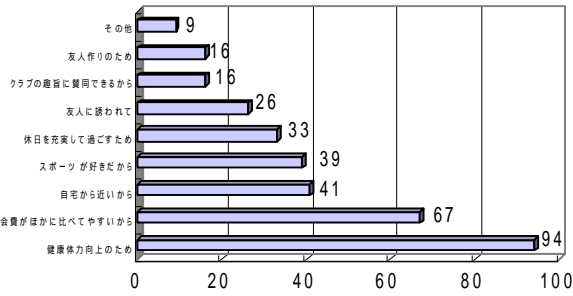
よって、高齢者向けに「広報紙」、インターネットをするひとに対して「ホームページ」を充実させる、又ホームページの存在を広めるのが良いと考えられる（Q14）。

**回答者の基本属性**



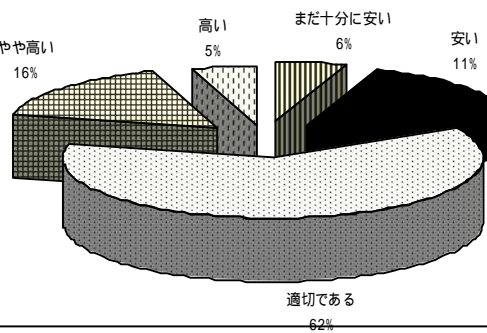
# モックルクラブ全般について

Q1. 入会した理由 (複数回答) 単位:人

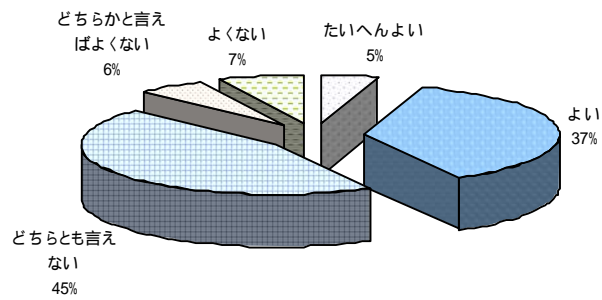


(その他) ・活動日、時間が都合よかった  
 ・運動が苦手なので ・面白そうだったから  
 ・姉が行く間、母が働いているため  
 ・一人で留守番しないといけなから

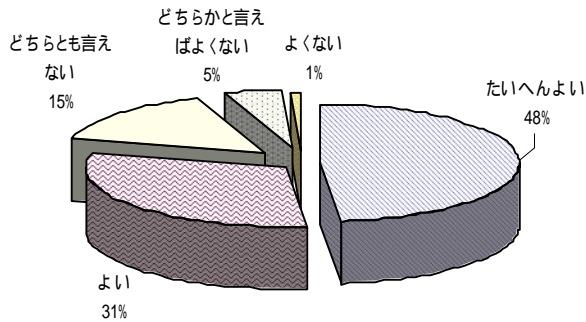
Q2. 会費の改定について



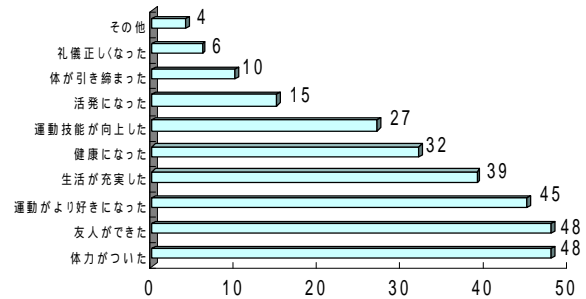
Q3. 郵便局自動引き落としについて



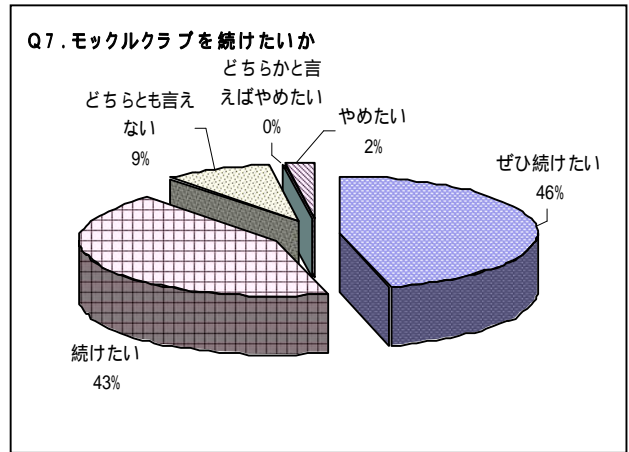
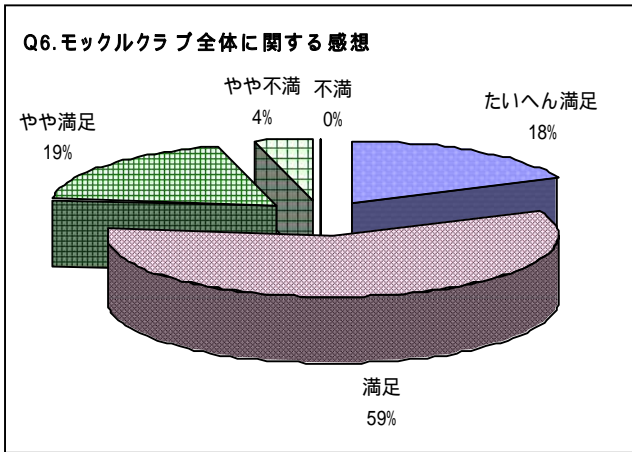
Q4. スポーツバイクシステムについて



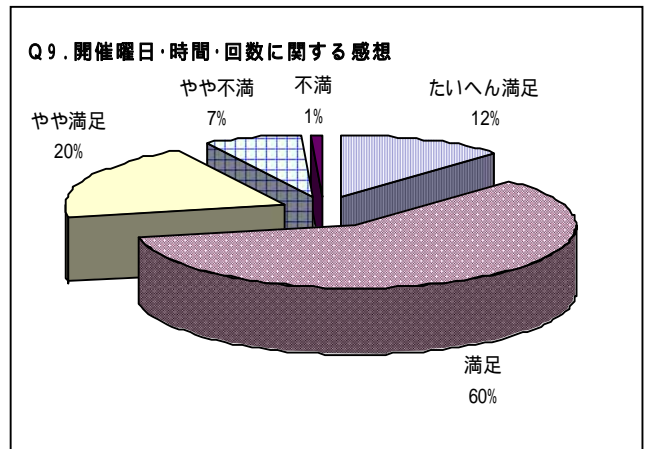
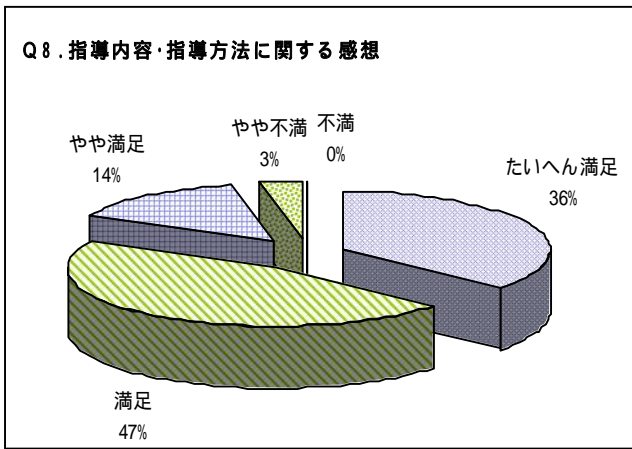
Q5. モックルクラブの活動による効果 (複数回答) 単位:人



(その他) ・健康面もう少し時間がかかりそう  
 ・健康を意識し、体力向上を目指すようになった  
 ・学年が違うお姉さん達と仲良くなった  
 ・素敵な指導者に巡り会った。出来る限り続けて技術を向上させたい  
 ・団体行動が身についた



**スクールプログラムについて**



**Q10. 現在のプログラム以外にどのような種目のスポーツや文化活動があれば参加したいですか？**

**運動系**

バトン、インディアカ、体操教室（マット・跳び箱・鉄棒）、トランポリン、ママさんバレーボール、合気道、スキー合宿、サッカー、野球、グランドゴルフ、縄跳び、アルファボール、水泳

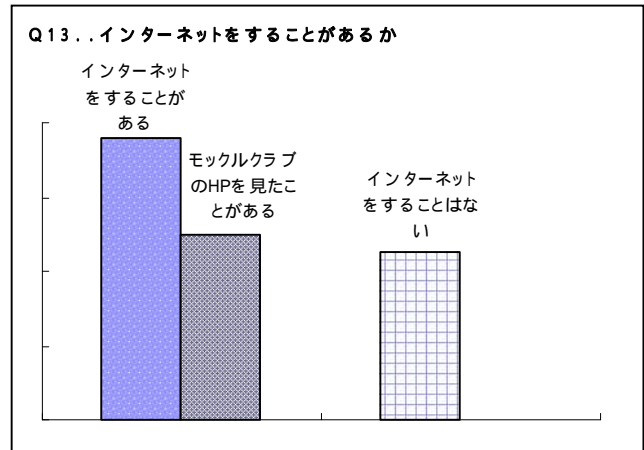
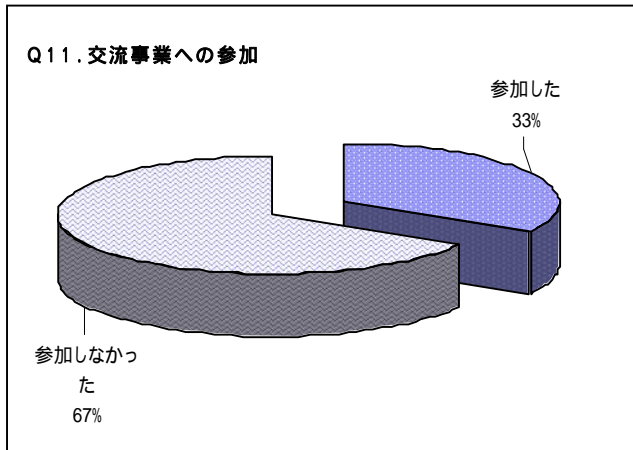
**文化活動系**

図画、工作、書道（習字教室）、英語、外国語会話（英語・独語）、トールペイント、アートフラワー、お菓子作り、将棋、歩こう会、趣味の会（物作り教室、手芸など）

**《その他》**

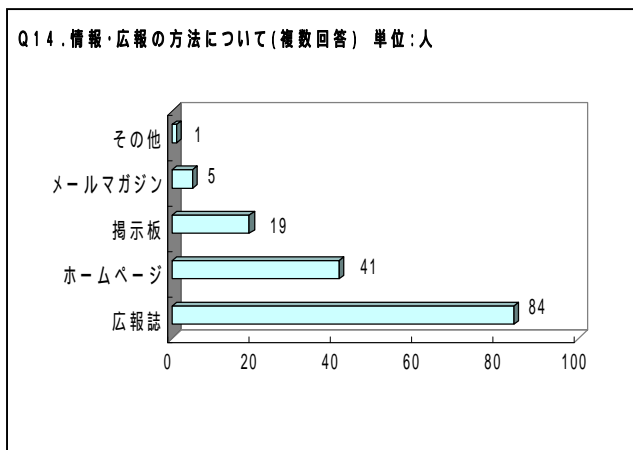
- ・ 幼稚園の子どもが参加できるプログラム
- ・ 夏休みに宿題や遊びに関するサマースクール（有料でも参加したい）
- ・ テニス（日曜日以外）

## 交流事業、広報事業について



## Q12. どのような交流事業や研修事業があれば参加したいと思いますか？

- ・中高年の為の筋力アップの講習会、食事の面から健康について考えられる様な講習会、ウォーキングなど
- ・講習会の日時が一日だけなので、同じ内容で2日～3日あれば、参加しやすい
- ・コーチの人数が多いスポーツ（大学のサークルで可）
- ・ハイキングとか遠足
- ・おえかきや工作
- ・水遊びや泥んこ遊びなど、子供が伸び伸び遊べるような短期集中のもの
- ・救命に関する講習会、護身術
- ・サークルのデモンストレーションが見たい（体験ではなく）
- ・合唱（年末に第九挑戦など）
- ・ボーリング



## 自由意見

- ・会費の値上げが不満（4人 兄弟が多いとしんどい、運営が不透明、身勝手、郵便引落とし反対）
- ・バイク制にこだわる前に、内容を見直して頂きたい。
- ・複数のスクールの参加者は会費を少しアップしたらいいと思う（4人）
- ・今回の会費の値上げが各クラブの必要経費にしっかり還元されるようお願いする。
- ・いつもご指導やお世話していただいているコーチやスタッフの方々に感謝している。（6人）
- ・校区外でも参加出来るよう希望します（2人）
- ・高学年の保護者の方は子供を見てしかってほしい。
- ・子供自身が「知っている人」が増えたことが一番の喜び。同年齢の子供だけでなく、

コーチや他のスクールの方や、保護者の方や、とにかく地域の中で子供の知っている人がたくさんいる事は、この頃の世の中、どこで何があるか分からない中で、とてもいい地域だとうれしく思っている。

- ・現在のように親子で一緒に参加できることを喜んでいる。
- ・卓球でもっと試合したい。
- ・寒い日は暖房が欲しい。
- ・学校の都合で休みにしないで欲しい。
- ・ジャズダンスに鏡がほしい。
- ・モックルクラブに入っている人は、みんなバザーに2品は出すようにしたら良いと思う。
- ・いろいろな事ができてうれしい。
- ・会費が上がるようになるともう少し子供のレベルにあった指導を求めたい。
- ・小山田小学校でもバレーボールをして欲しい。
- ・冬の体育館は寒い(キンダー)。
- ・名前を覚えるようにしてほしい。
- ・長く続いて欲しいと思う。
- ・時間内に終えて欲しい。
- ・素敵な先生に出会って、大変幸せに思っている。
- ・太極拳で午後の時間も欲しい。初心者とベテラン別々の時間にして欲しい。
- ・就学前の子供が参加できるプログラム(キンダースポーツ以外)が増やして欲しい。